

フラワーガーデン



園芸総合センター
渡辺 二郎

シクラメンの夏越し

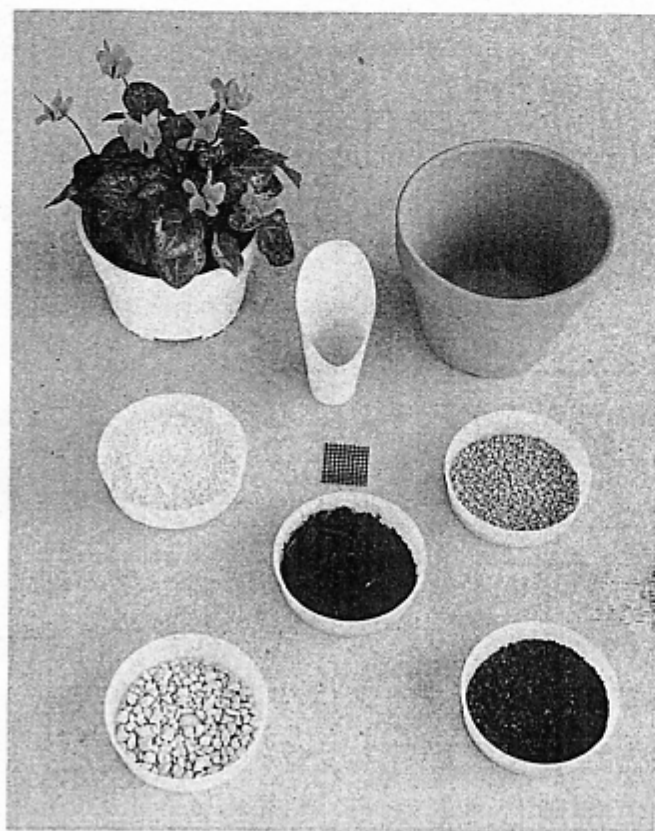
冬の間、リヒングや玄関に彩りを添えていてくれたシクラメンもたくさん花を付けてきたことに疲れ、息も絶え絶えになっていませんか？ シクラメンは日本ではほとんど一年草扱いですが、うまくやれば夏越し、次の冬も花を咲かせ、私たちの目を楽しませてくれます。今回は、シクラメンの夏越しに挑戦してみましよう。

シクラメンは寒さには比較的強い反面、日本の夏の暑さには弱く、夏を越すには少々工夫が必要です。夏越しには二つの方法がありますが、まず栽培を継続して夏を越す方法について述べてみましょう。

本来なら、まだシクラメンの生育適温範囲内である四月下旬～五月初旬くらいまでの間に植え替えを行うのがよいのですが、そのまま夏を越すよりはいいのでまだの人はすぐ植え替えにかかりましょう。

☆用意するもの

- 1、素焼鉢（それまで植わっていた鉢より一回り大きなもの）
- 2、鉢底網（防虫ネット）
- 3、ゴロ土（日向土など）
- 4、用土（田土または庭土3、腐葉土3、赤玉3、パーライト）

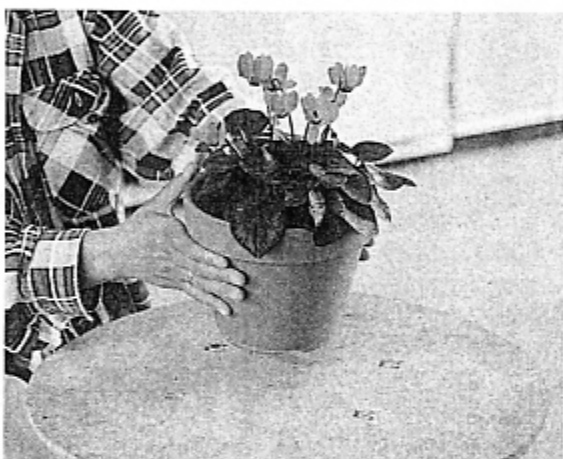




②新しい鉢の底穴にネットを敷き、ゴロ土を2、3cm入れる。



①古い鉢から引き抜く。抜けにくい時はゴム槌などで鉢の横をたたく。(根はほぐさなくて良い。)



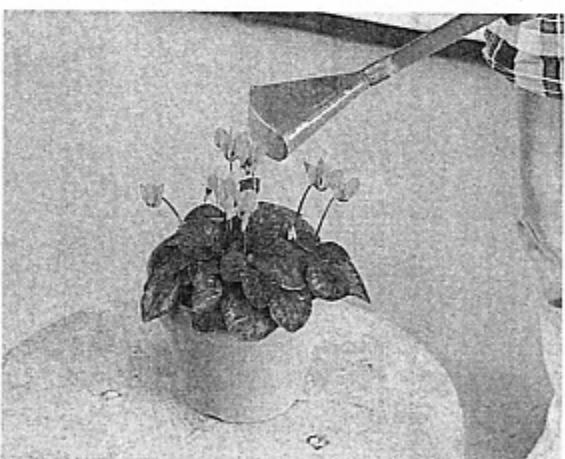
④鉢底を2、3回軽く叩きつけ、土をしめる。



③球根の1/2が土の表面より上に出るように植え付ける。

その他の注意

シクラメンは、球根の芽の部分に水をかけるとそこから病原菌が入り、球が腐ったりすることがあるので水をやる時は葉をどけ、球根横の土の表面にそっとやるか、底面から水を吸わせましょう。上から水をやるのは土が落ち着くまでの植え替えから1週間程度です。夏の暑い時期、シクラメンは生長が抑制されますので肥料は控えめに。7～8月は月2回の液肥でよいでしょう。



⑤土を落ち着かせ、根と密着させるため、上から水をかける。